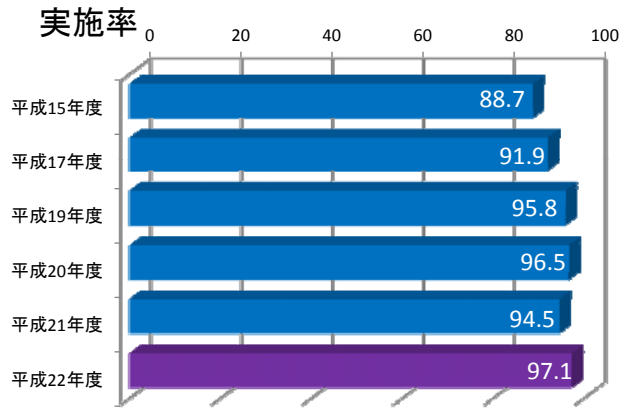
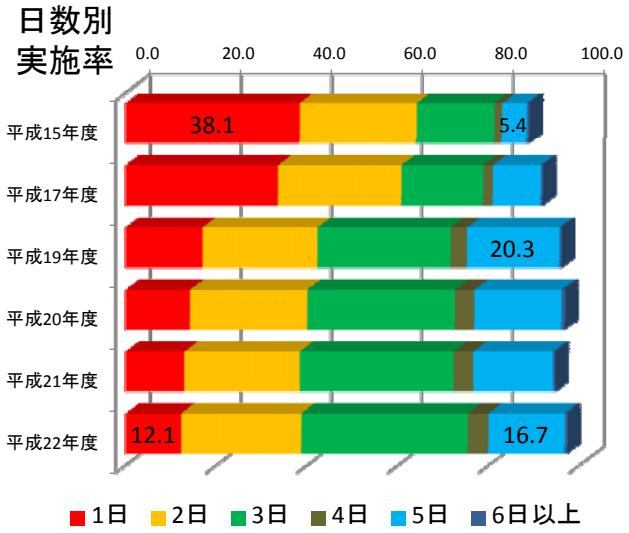
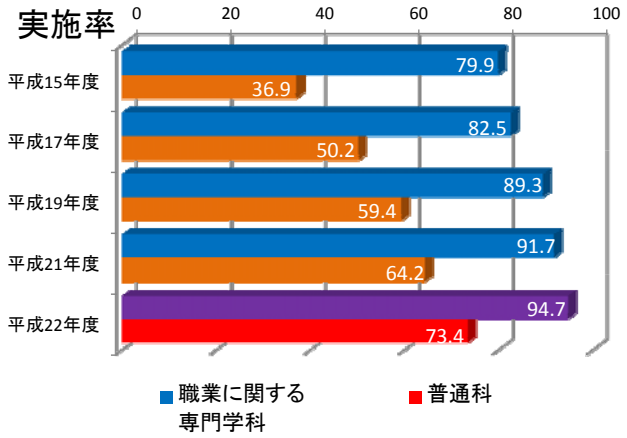
中学校における職場体験活動

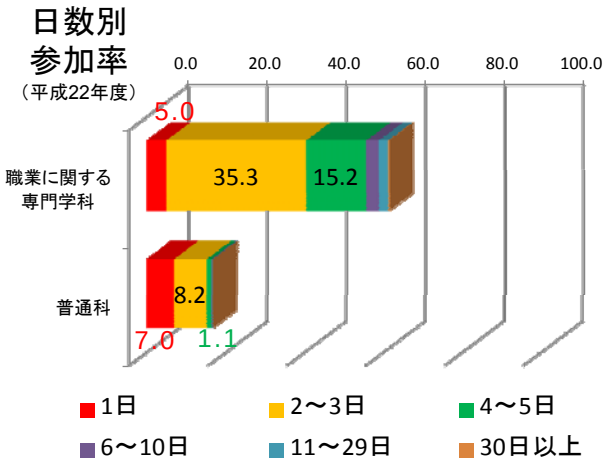




国立教育政策研究所生徒指導研究センター「職場体験・インターンシップ実施状況等調査」

全日制高校におけるインターンシップ





国立教育政策研究所生徒指導研究センター「職場体験・インターンシップ実施状況等調査」

小・中学校　改正通知

19文科初第1357号　平成20年3月28日
文部科学事務次官　銭谷眞美

1.改正の概要

（1）幼稚園、小学校及び中学校の教育課程の基準の改善の基本的な考え方

② 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視すること

- 各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動（中学校にあっては外国語活動を除く。）（以下「各教科等」という。）において、基礎的・基本的な知識・技能の習得を重視した上で、観察・実験やレポートの作成、論述など知識・技能の活用を図る学習活動を充実し、思考力・判断力・表現力等の育成を重視したこと。
- あらゆる学習の基盤となる言語に関する能力について、国語科のみならず、各教科等においてその育成を重視したこと。
- これらの学習を充実するため、国語、社会、算数・数学、理科及び外国語等の授業時数を増加したこと。
- これらの学習や勤労観・職業観を育てるためのキャリア教育などを通じ、学習意欲を向上するとともに、学習習慣の確立を図るものとしたこと。

（4）小・中学校における主な改善事項

⑤ 体験活動の充実

- 児童生徒の社会性や豊かな人間性をはぐくむため、その発達の段階に応じ、集団宿泊活動や自然体験活動（小学校）、職場体験活動（中学校）を重点的に推進することとしたこと。

高等学校　改正通知

20文科初第1312号　平成２１年３月９日
文部科学事務次官　銭谷眞美

1.改正の概要

（1）高等学校の教育課程の基準の改善の基本的な考え方

② 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視すること

- 各教科、総合的な学習の時間及び特別活動（以下「各教科等」という。）において、基礎的・基本的な知識・技能の習得を重視した上で、観察・実験やレポートの作成、論述など知識・技能の活用を図る学習活動を充実し、思考力・判断力・表現力等の育成を重視したこと。
- あらゆる学習の基盤となる言語に関する能力について、国語科のみならず、各教科等においてその育成を重視したこと。
- これらの学習や勤労観・職業観を育てるためのキャリア教育などを通じ、学習意欲を向上するとともに、学習習慣の確立を図るものとしたこと。

（2）主な改善事項

⑦体験活動の充実

- ボランティア活動などの社会奉仕体験に関する活動や就業体験に関する活動の充実を図ったこと。

高等学校学習指導要領総則：
生徒が自己の在り方生き方を考え，主体的に進路を選択することができるよう，学校の教育活動全体を通じ，計画的，組織的な進路指導を行い，キャリア教育を推進すること。（第5款　教育課程の編成・実施に当たって配慮すべき事項）

今後の学校におけるキャリア教育の在り方について　総論

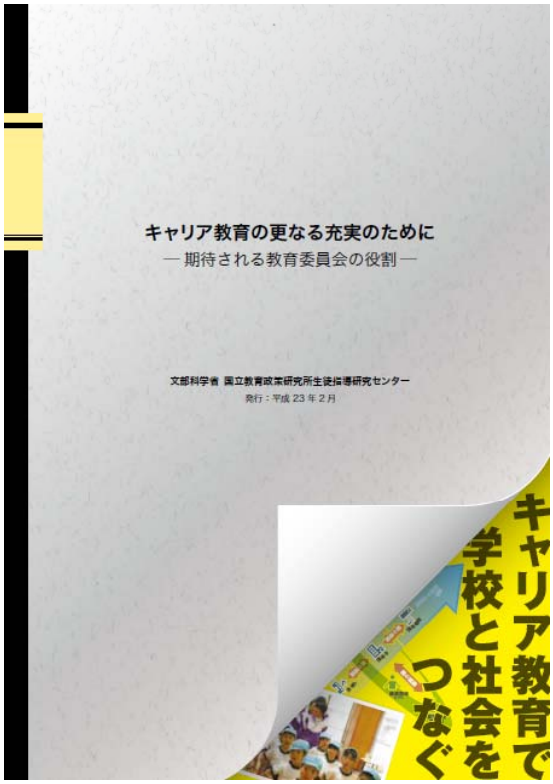
平成21年3月

平成21年11月

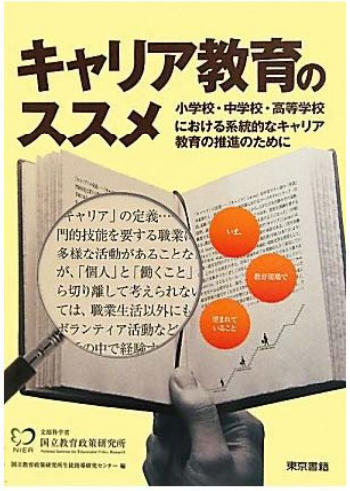
平成22年2月

平成22年1月（改訂版23年5月）

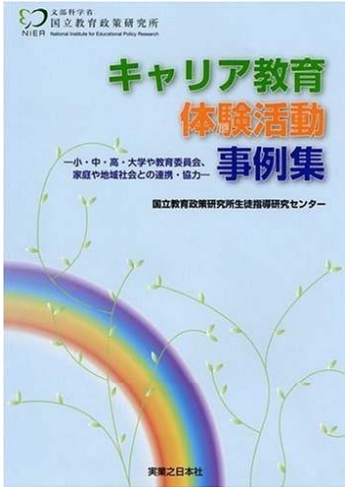
平成23年3月



ご参考：最新出版情報



650円（税込）
東京書籍



2100円（税込）
実業之日本社

最新情報

「小学校キャリア教育の手引き（改訂版）」
「中学校キャリア教育の手引き」
教育出版より発売中（価格：各780円［税抜］）

さらに平成23年11月には……

小・中・高　全校配付

高校等　全校配付（後日市販も予定）

文部科学省ホームページ（http://www.mext.go.jp）内

「キャリア教育」ホームページ　Renewal Open！！

文部科学省トップページの「キャリア教育」をクリック！

もしくは

キャリア教育　検索

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/index.htm

「キャリア教育」ホームページ　コンテンツ

- 新着情報（キャリア教育関連の最新情報を発信してまいります。）
- 先生応援ページ（キャリア教育のことについて分からないことがあれば、是非このページを！！手引きやパンフレットなどの情報を掲載しております。）
- 都道府県・政令指定都市における取組事例（各地での好取組事例を御紹介いたします。）
- キャリア教育に関する答申、報告、会議（キャリア教育に関する重要な報告等のページです。）
- キャリア教育推進フォーラム（イベントの内容や、大臣表彰などについての情報を掲載します。）

etc...

【お問合せ先・情報提供先】 文部科学省初等中等教育局児童生徒課（担当：酒井）
電話：03-6734-3297　Mail：jidou@mext.go.jp

キャリア教育推進施策の動向

今後の学校におけるキャリア教育の在り方について　総論

平成11年　中教審答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」

キャリア教育を小学校から段階的に実施する必要がある

↓

平成15年 「若者自立・挑戦プラン」

↓

平成18年　教育基本法改正

第2条（教育の目標）第2号
……職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと

↓

平成20年～21年　小中高等学校等学習指導要領改訂

平成20年　教育振興基本計画

小学校段階からのキャリア教育を推進する

↓

平成22年2月　大学設置基準改正

第42条の2　大学は，当該大学及び学部等の教育上の目的に応じ，学生が卒業後自らの資質を向上させ，社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を，教育課程の実施及び厚生補導を通じて培うことができるよう，大学内の組織間の有機的な連携を図り，適切な体制を整えるものとすること。

教育振興基本計画（平成20年7月1日閣議決定）

今後5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策

- 子どもたちの勤労観や社会性を養い，将来の職業や生き方についての自覚に資するよう，経済団体，PTA，NPOなどの協力を得て，関係府省の連携により，小学校段階からのキャリア教育を推進する。特に，中学校を中心とした職場体験活動や，普通科高等学校におけるキャリア教育を推進する。

- 特に重点的に取り組むべき事項
  - （3）で述べた今後5年間に取り組むべき施策の中でも，とりわけ以下の事項については，特に重点的な取組を推進する。
    - キャリア教育や専門高校における職業教育の推進（学校を中心とした職場体験活動をはじめ，キャリア教育を推進する）